

## 長崎県・長崎市の現状

### これからの観光と長崎の都市再生

### 長崎の魅力

## 長崎県・長崎市の現状

### ①人口の減少

- ・H42の人口予測では、人口減少、高齢化が著しい

### ②観光は県・市の主産業

- ・第2次産業、特に製造業の比率が小さい
- ・観光は主産業となっている

### ③観光客数は減少傾向、外国人客は増加

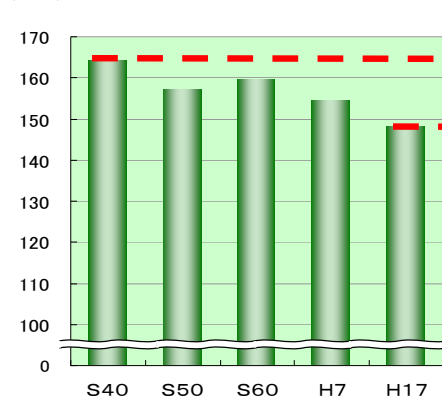
- ・韓国、台湾からの客数に著しい伸び

# 長崎県・長崎市の人口の動向等

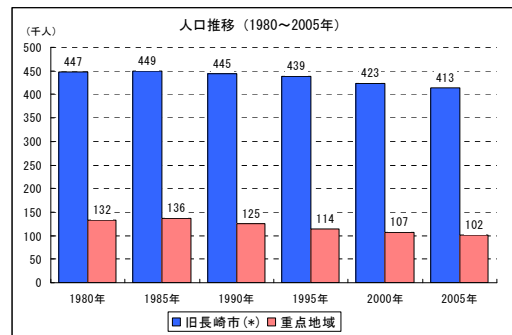
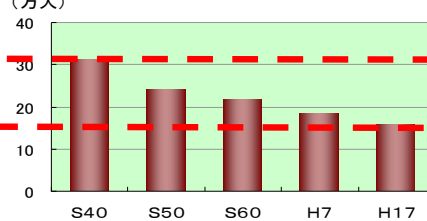
- 長崎県の人口減少（S40年→H17年の40年間）※国勢調査人口  
164.1万人 → 147.9万人に、約16.3万人減少。
- 特に、離島の人口減少が著しい。（同40期年間）  
31.2万人 → 15.6万人に、約15.7万人減少。

離島の人口減少数は、県全体の減少数にほぼ等しい

長崎県の人口(全体)



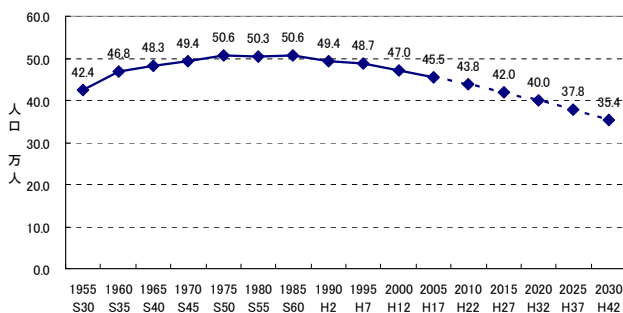
うち離島人口



- 長崎市の人口減少  
(S60→H17の20年間)3.6万人減少
- 重点地域内の人口減少  
(S60→H17の20年間)3.4万人減少

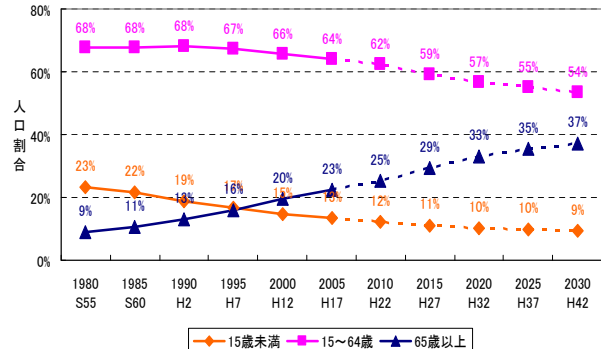
# 長崎市の人口将来予測

人口



長崎市の人口（旧7町分を含む）は、1985（昭和60）年の50.6万人を境に減少に転じている。

年齢別人口



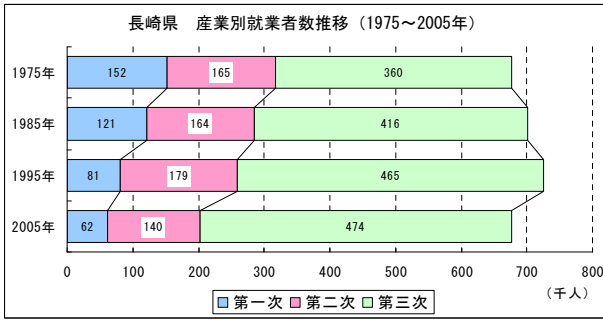
長崎市の人口構造は、65歳以上の高齢者の人口割合が増加し、15歳未満及び15歳～64歳の人口割合が減少しており、少子・高齢化が進行している。

## 【20年後の予測】

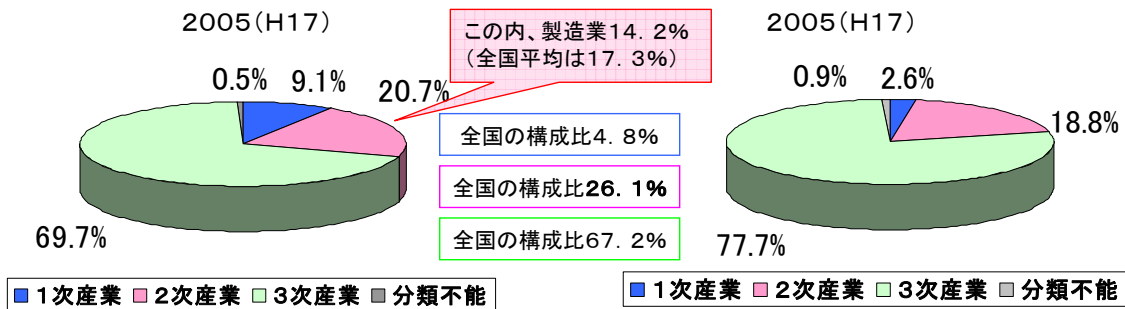
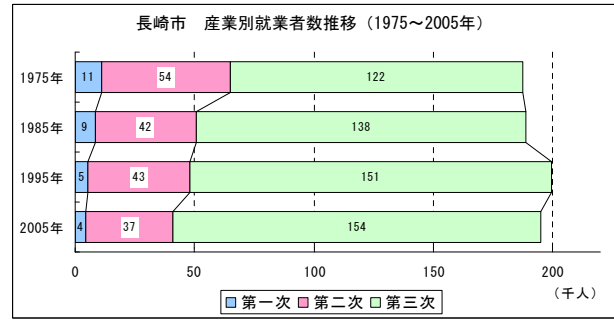
- ・人口減少率は約22%（H17年45.5万人→H42年35.4人）
- ・65歳以上の高齢者の占める割合は約37%（H17年23%→H42年37%）

# 長崎県・長崎市の産業構造

## 長崎県



## 長崎市



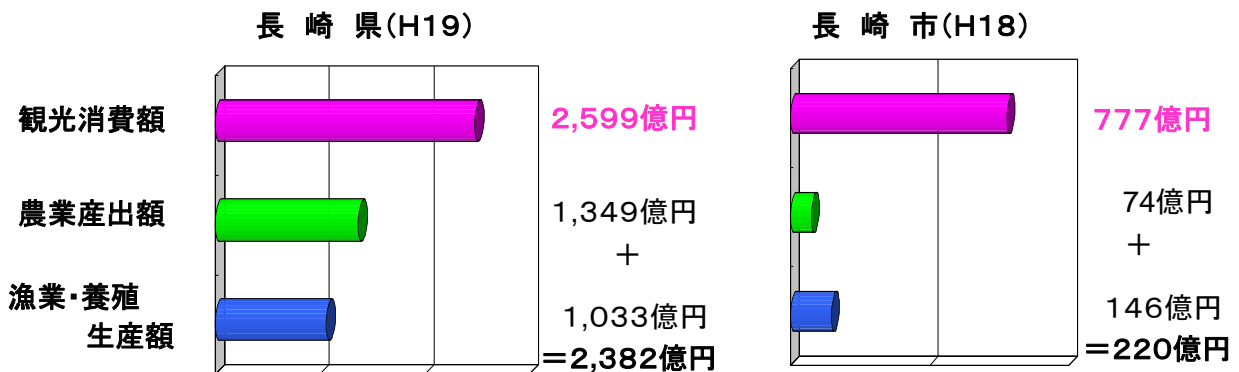
第2次産業の比率が小さい(特に製造業)

国勢調査

4

# 観光は長崎県・長崎市の主産業

・観光産業は農業・水産業を超える規模



・交流人口拡大こそが、人口減少による地域衰退を抑える切り札

< 湯布院町(現 由布市)の例 (JTB) >

「人口 11,500人の湯布院町に400万人の観光客」

「町の予算規模49億円に対し、経済効果は、505億円」

< フランスの例 >

人口 6,100万人 ⇔ 外国人観光客 7,900万人

(総務省統計局 世界の統計 2006年)

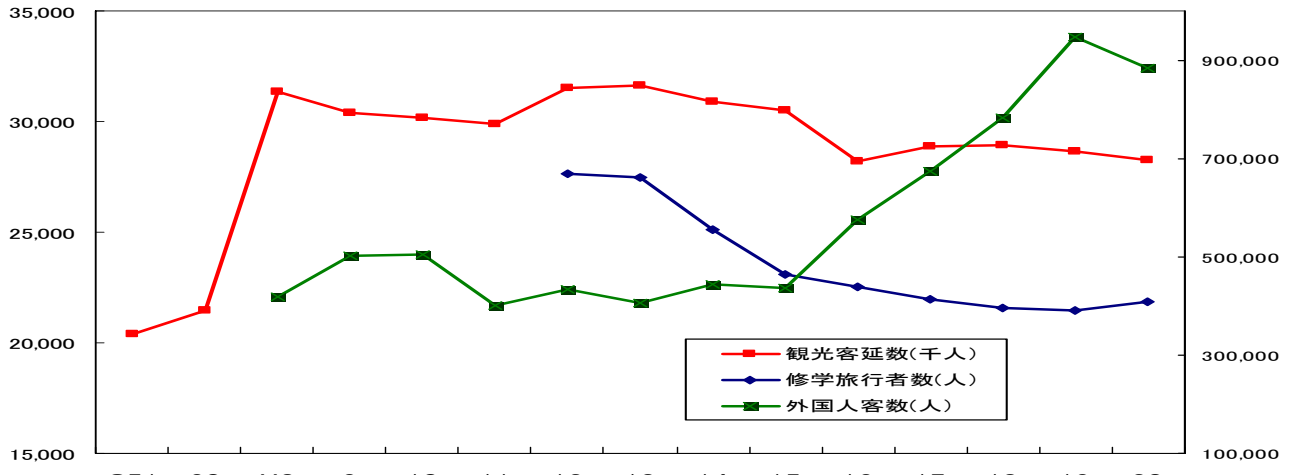
(世界観光機関調 2006年)

観光産業はGDPの6.5% 200万人の雇用 20万以上の事業者

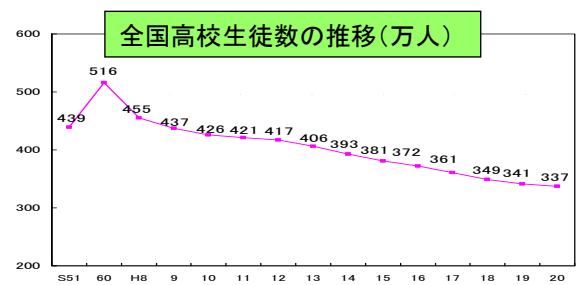
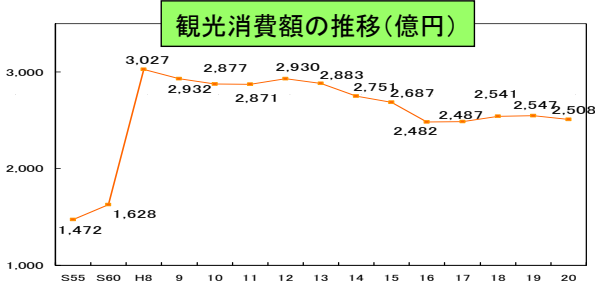
(自治体国際化協会CLAIR REPORT 305「フランスの観光政策」より)

5

# 観光客数等の推移



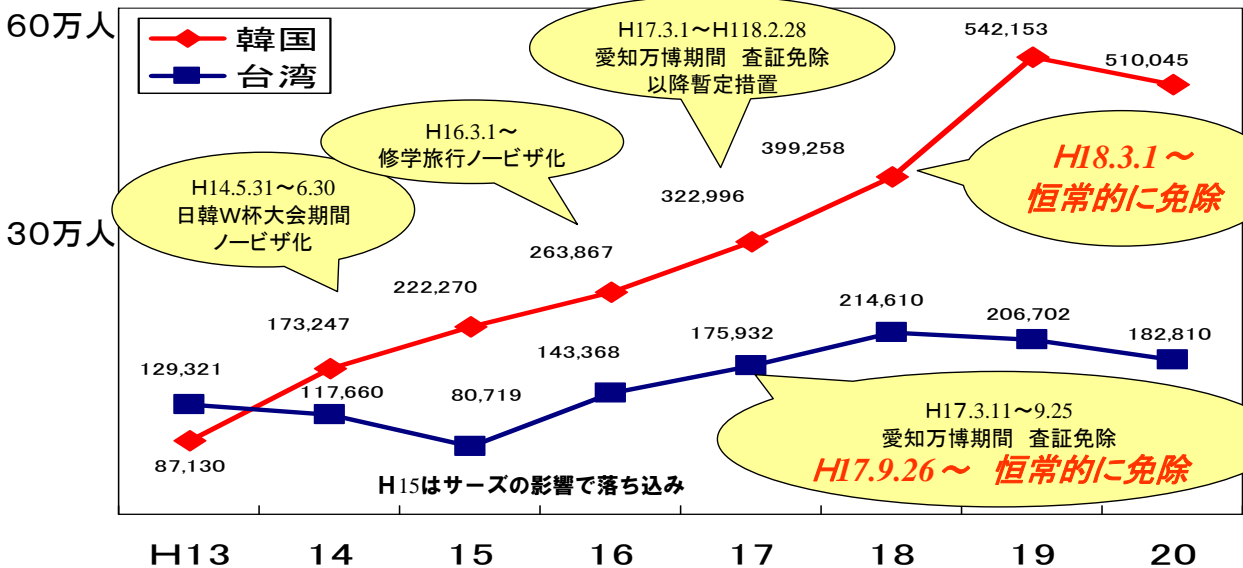
	S51	60	H8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
観光客延数(千人)	20,377	21,442	31,339	30,413	30,175	29,913	31,511	31,631	30,908	30,483	28,208	28,900	28,906	28,641	28,241
修学旅行者数(人)	-	-	-	-	-	-	669,885	661,703	555,167	463,165	439,008	413,807	395,715	390,768	408,732
外国人客数(人)	-	-	419,067	503,100	503,304	399,996	433,724	405,424	442,653	436,505	575,223	672,761	783,212	945,870	883,602



6

## 外国人観光客数（宿泊客延滞在数） 県全体

出典：長崎県観光統計 (単位：年、人)



### 中国 個人ビザの解禁(H21. 7. 1)

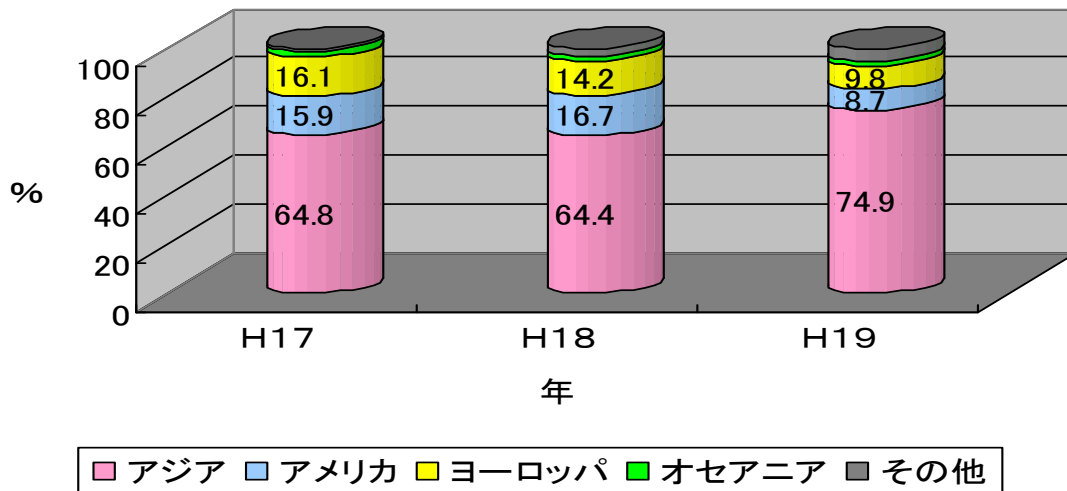
集中的な誘客対策を実施

- 三大市場（北京、上海、広東）向け情報発信
- 富裕層向けの商品販売強化

7

# 長崎市の外国人宿泊者の推移と地域別構成比

平成17年			平成20年		
1位	韓国	44,414人	→	韓国	82,622人 ↑
2位	アメリカ	15,821人	→	台湾	29,764人 ↑
3位	台湾	13,915人	→	アメリカ	13,803人
4位	中国	6,640人	→	中国	5,216人
5位	イギリス	3,406人	→	シンガポール	4,372人



8

## これからの観光と長崎の都市再生

- 観光発祥の地である長崎が新たな観光を提案する

「観光」という言葉は、中国の四書五経の一つ「易経」の一節、「観光之光、利用濱干王」に由来し、「地域にすぐれたものを観ること、観せること」を意味する。

日本では、1855年、長崎の海軍伝習所にオランダから送られた蒸気船にこうした意味を込めて「観光丸」と命名されたのが、観光という言葉のはじまりであり、長崎は観光の発祥の地といえる。



- 長崎が目指す観光とは、「歴史」・「文化」・「商業」・「産業」・「平和」・「医療」等、広く捉えるという視点が大事
- この新たな観光を支えることができるまでに「長崎市中央部・臨海地域」を再生する



9

# 「長崎の魅力」

## 長崎にしかない5つの魅力を活かす

### ① 歴史の魅力

キリスト教の伝来と共に開かれたまち、造船業などが日本の近代化をリード、原爆投下の悲劇を乗り越えたまち

### ② 風景と自然の魅力

港を中心に広がる景観、稲佐山からの夜景、歴史に育まれた多様な街並み

### ③ 文化の魅力

西洋や中国との長い交流を通じ海外文化の影響を受け、他都市に類を見ない国際色豊かな文化に恵まれたまち

### ④ 産業都市としての魅力

造船から派生した環境や新エネルギー関連の世界トップクラスの技術力や日本近代史における重要な遺産が多数存在するまち

### ⑤ 国際観光都市としての魅力

西洋・中国文化が日常生活のあらゆるところで長崎独自の魅力として息づき、現在も数多くの国際船が入港する魅力的な港町

「長崎市観光戦略」で整理されたもの

10

## ① 歴史の魅力

### ○キリスト教の伝来と共に開かれたまち ～長崎～

- ・江戸時代には、国際貿易港として西洋・中国文化を全国に伝えた
- ・幕末には、坂本龍馬らが日本の夜明けを導いた
- ・開国後は、居留地が整備され、異国情緒あふれるまち並みが形成
- ・その後、産業面では造船業などが日本の近代化をリード
- ・原爆投下の悲劇を乗り越えた



- 西洋との出会い
- 中国との出会い
- 鎖国下の繁栄
- 幕末から維新
- 開国と近代化
- 被爆と復興

### 【主な施策】

- ・「まちなか再生計画」などと連携して、往時の長崎を体感できるようなエリアやルートづくり
- ・「長崎さるく」の定着・拡充（新コース設定、ガイド育成など）
- ・大学との連携による歴史研究や国際的な長崎学会などの開催
- ・平和を発信する活動の拡大（ガイドの強化、音楽会など）

11

出典：長崎市観光戦略

## ② 風景と自然の魅力

○港を中心に広がる景観、稲佐山夜景、歴史にはぐくまれた多様なまち並み

○島や海、温泉、棚田など地域固有の風景や自然の魅力

### 【主な施策】

- ・まちを取り巻く眺望や観光資源周辺の景観整備などによる美しい景観の確保
- ・夜景観光の推進を図るための稲佐山の魅力向上
- ・長崎港周辺の整備（出島ワープの活性化など）
- ・合併地区の観光資源の活用（サンセット・オーシャン・ロードの活用、グリーン&ブルーツーリズムの推進、つり体験、ダイビングなど）



出典：長崎市観光戦略

12

## ③ 文化の魅力

○西洋や中国との長い交流を通じて海外文化の影響

○他都市に類を見ない国際色豊かな文化

○文化行事等	キリスト教文化、くんち、春節祭など
○芸術	音楽、絵画など
○食	卓袱料理、中華料理、カステラなど
○工芸品	ベッコ甲、長崎刺繍、ビードロなど

### 【主な施策】

- ・「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録推進と整備（教会と周辺集落の整備、教会群の巡礼ルート設定）
- ・文化や人などに焦点を当てたイベントの創出（居留地、クリスマス、くんち、坂本龍馬、長崎街道に関するイベントなど）
- ・夜型イベントの創出
- ・観光客向けの体験メニューの拡充
- ・市民文化活動の活用（長崎の伝統文化や芸能の発表など）
- ・新たな芸術の創造（若手芸術家の育成・拠点づくりなど）
- ・食と物産の開発（食や物産のコンテスト、マップ作成、物産館の検討など）

出典：長崎市観光戦略

13

## ④ 産業都市としての魅力

- 開国後の日本の近代化を推進した炭鉱や造船、水産などの産業が発展
- 造船から派生した環境や新エネルギー関連の世界トップクラスの技術力
- 産業面から見た日本近代史における重要な遺産が多数存在

### 【主な施策】

- ・「九州・山口の近代化産業遺産群」の世界遺産登録推進と整備（軍艦島、池島炭鉱、ソロバندوقクなど）
- ・造船業の発展や貨客船時代に因む資源の観光的活用（長崎造船所史料館、上海航路時代の資料などの活用）



出典：長崎市観光戦略  
長崎造船所史料館HP

14

## ⑤ 国際都市としての魅力

- 長年にわたる国際交流の歴史により、長崎独自の魅力として息づく西洋・中国文化
- 現在も数多くの国際船が入港する魅力的な港町

### 【主な施策】

- ・東アジアをターゲットにした長崎のイメージや観光素材に関する基礎的なモニター調査と分析
- ・国際都市の雰囲気醸し出すまちづくりやイベントの開催
- ・「平和都市・長崎」としての世界への情報発信



出典：長崎市観光戦略

15



# 二つの世界遺産候補

## 長崎の教会群と キリスト教関連遺産

(平成19年1月 暫定リスト入り)

- ・大浦天主堂 (長崎市)
- ・大野教会堂 (長崎市)
- ・黒島天主堂 (佐世保市)
- ・田平天主堂 (平戸市)
- ・旧五輪教会堂 (五島市)
- ・原城跡 (南島原市)
- ・旧野首教会 (小値賀町)
- ・頭ヶ島天主堂(新上五島町)ほか

※現在、文化的景観等を含む29資産について、構成資産の候補として検討中。

## 九州・山口の 近代化産業遺産群

(平成21年1月 暫定リスト入り)

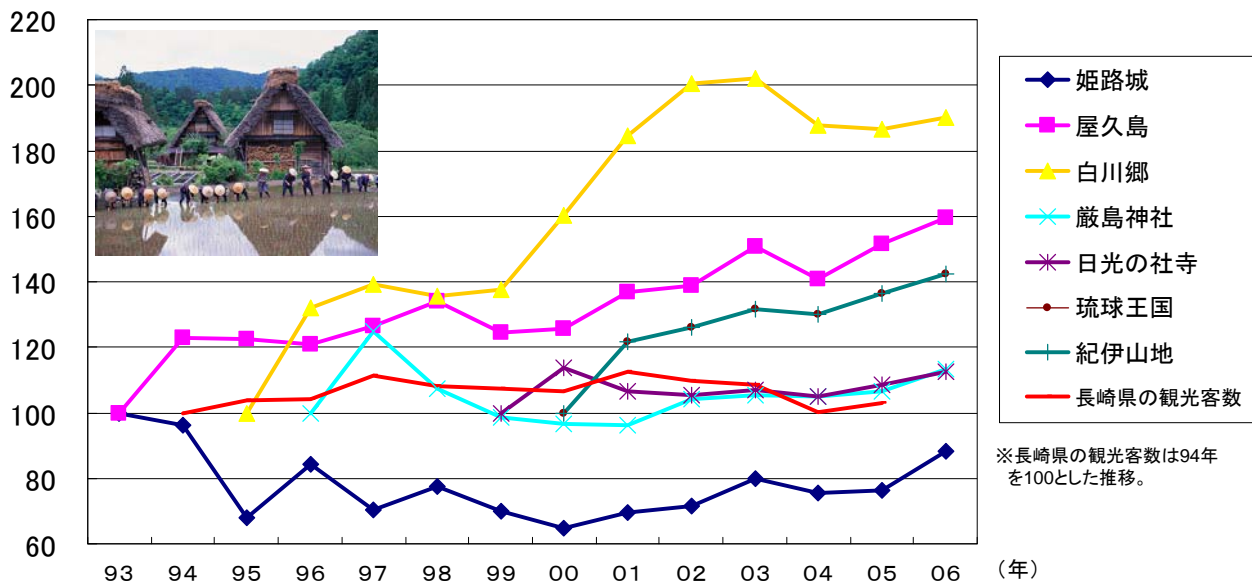
- ・小菅修船場跡
  - ・旧グラバー住宅
  - ・北溪井坑跡
  - ・端島炭坑(軍艦島)
- (いずれも長崎市)



16

## 世界遺産ごとの交流人口の推移

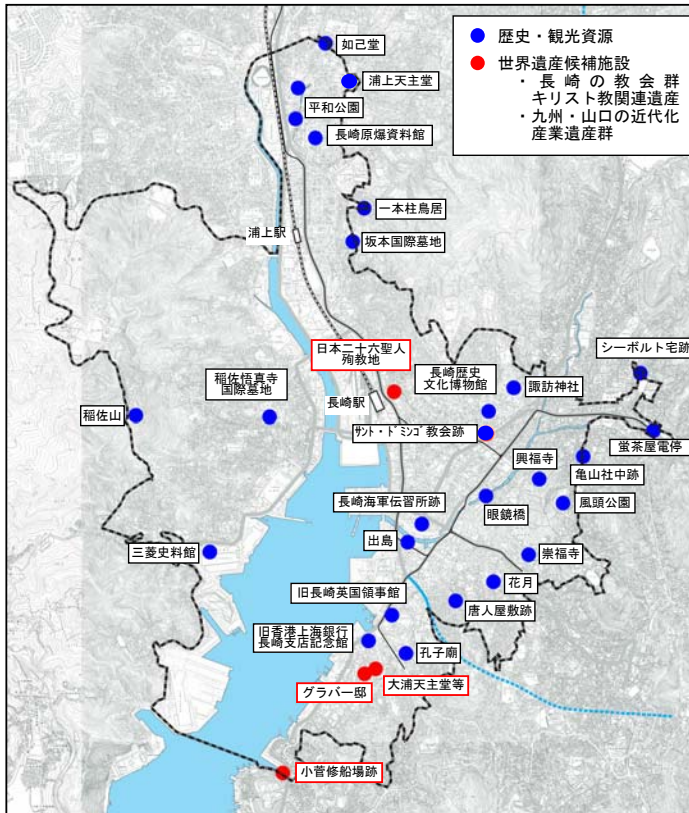
世界遺産に登録された都市の交流人口=100



※長崎県の観光客数は94年を100とした推移。

※「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の関係5市2町における  
経済波及効果額は、5年間で約465億円。1年あたり約93億円。

## 歴史・観光資源等の分布状況



- 中国やオランダ、ポルトガルなどとの交流を背景とする独自の歴史的経緯や文化等により異国情緒たどる観光資源が存在する。
- 海や緑といった自然豊かな観光資源のほか、被爆都市として核兵器の廃絶と世界恒久平和をアピールしている地域でもある。
- 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」・「九州・山口の近代化産業遺産群」として世界遺産暫定一覧表に登録されている施設を有している。

18

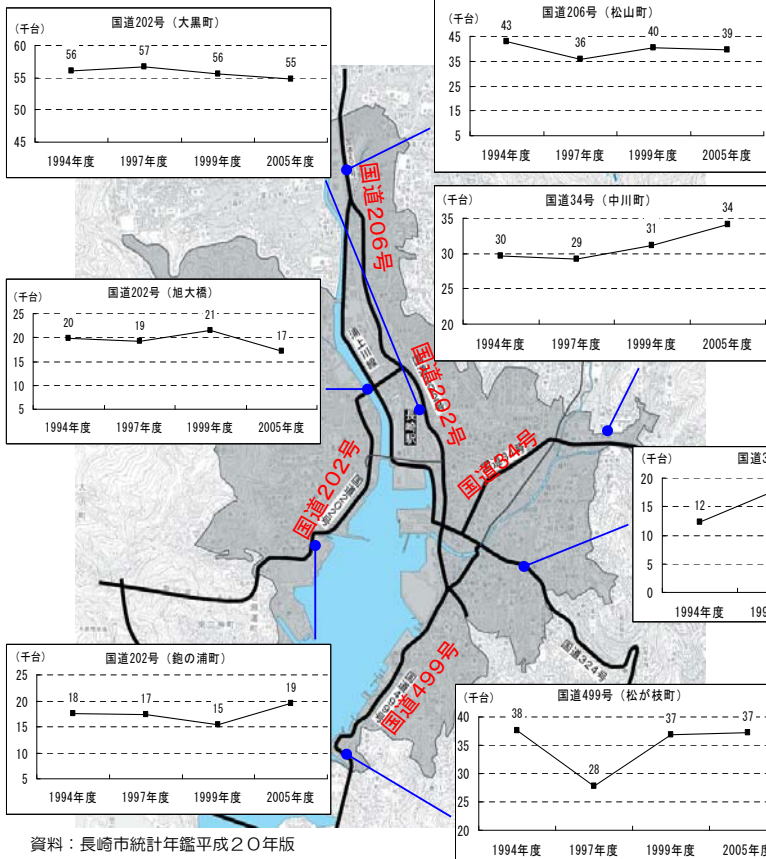
## 参 考 デ ー タ

### 重点地域の交通体系

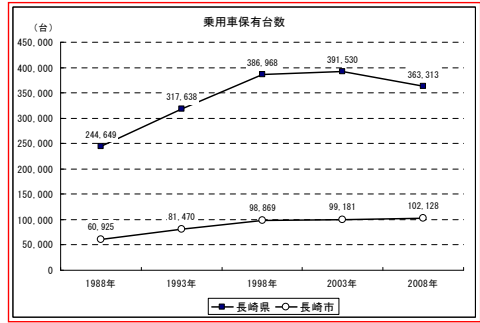
- ① 主要地点の自動車交通量
- ② JR・路面電車
- ③ 公共交通利用者数推移(JR、バス、路面電車)
- ④ 観光交通手段

19

# ①重点地域の交通体系／主要地点の自動車交通量



## 乗用車保有台数の推移



○県全体  
近年、減少傾向  
○長崎市  
微増傾向

○南北方向  
(国道206号～202号～499号)  
3万台/日以上  
○長崎駅前(国道202号)  
約5万5千台/日

# ②重点地域の交通体系／JR・路面電車

## JR

○長崎駅、浦上駅

○運行本数(平日)

特急 53本/日運行

快速・普通 126本/日運行

## 路面電車

○通常は4系統が運行

○運行本数(平日昼間)

5～8分間隔

○運賃 定額制

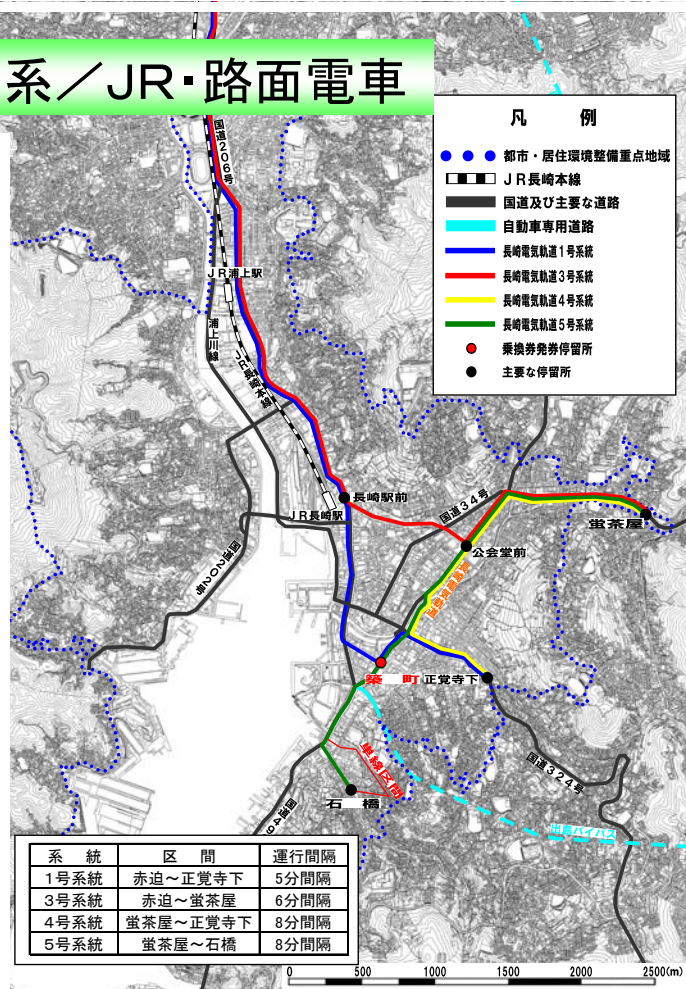
大人100円、子供50円

一日乗車券 500円

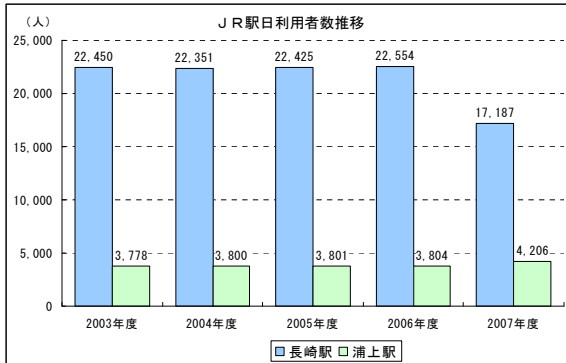
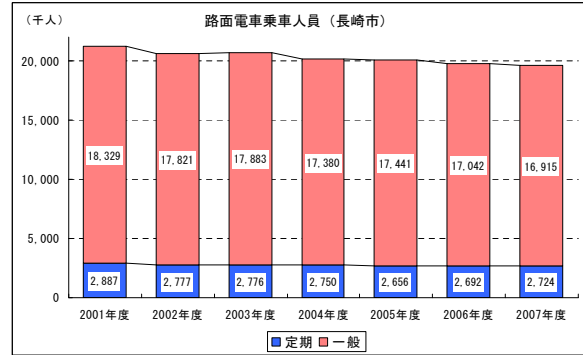
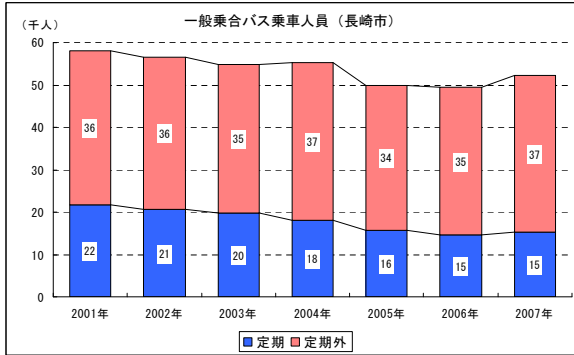
○乗換券利用で乗換可能

○乗換券発券は築町のみ

○大浦海岸通～石橋間は単線区間



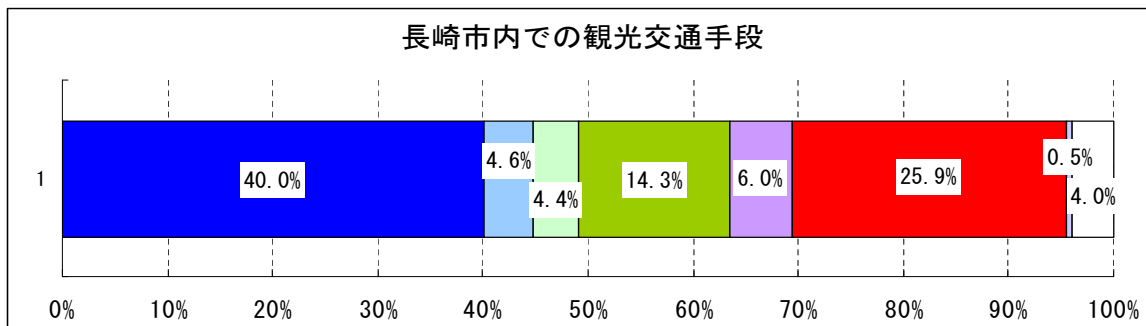
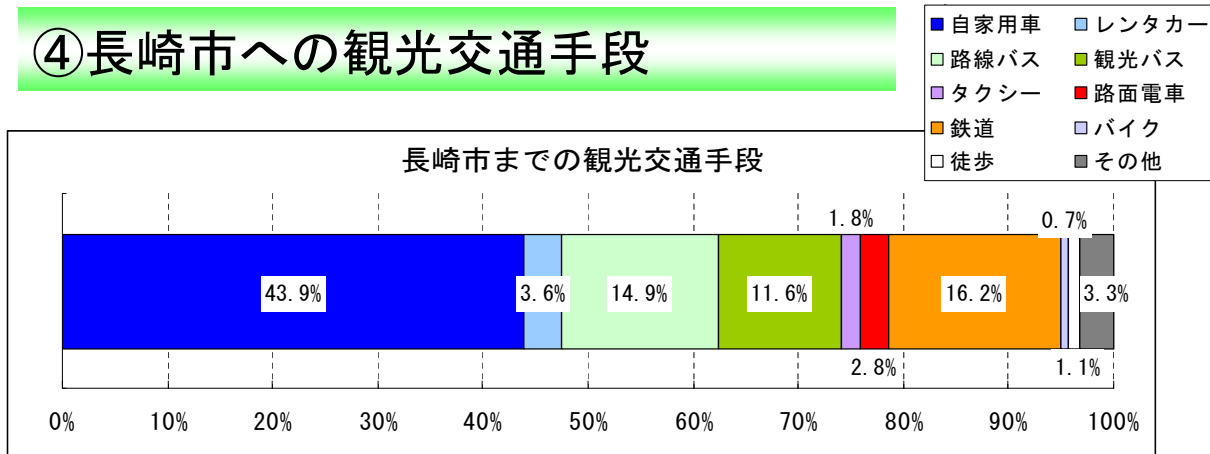
### ③重点地域の交通体系／公共交通利用者数推移



路面電車は運行本数が多く、観光地にも近接していることから観光客や市民の通勤通学の重要な交通手段になっている。

（資料：長崎市統計年鑑 平成20年版）

### ④長崎市への観光交通手段



市内での観光客の交通手段は、自家用車・路面電車が約7割を占める。

（資料：第2回長崎市パーソントリップ調査（国土交通省HPより））

## 現在進められているプロジェクト等

### 現在進められているプロジェクト等

- ① 九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)
- ② 長崎駅周辺の整備
  - ・長崎駅周辺土地区画整理事業
  - ・JR長崎本線連続立体交差事業
- ③ 長崎自動車道(長崎～長崎多良見)4車線化
- ④ 長崎港松が枝国際観光船ふ頭整備事業
- ⑤ 長崎さるく
- ⑥ 大河ドラマ「龍馬伝」の活用
- ⑦ 中国人クルーズ客のアーケードツアー
- ⑧ 景観への取り組み

# ①九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)の進捗状況

## <平成21年度予算>

- 武雄温泉～諫早間  
事業費 2600億円  
H21年度予算 60億円(補正後)
- 着工調整費(長崎駅部)  
H21年度予算 9億円の内数
- 肥前山口～武雄温泉間複線化等  
H21年度予算 1.5億円の内数

## <長崎駅部整備>

- 平成21年末  
駅部着工認可予定
  - 平成30年3月(予定)  
武雄温泉～諫早間完成
- 【目標】長崎延伸一括開業

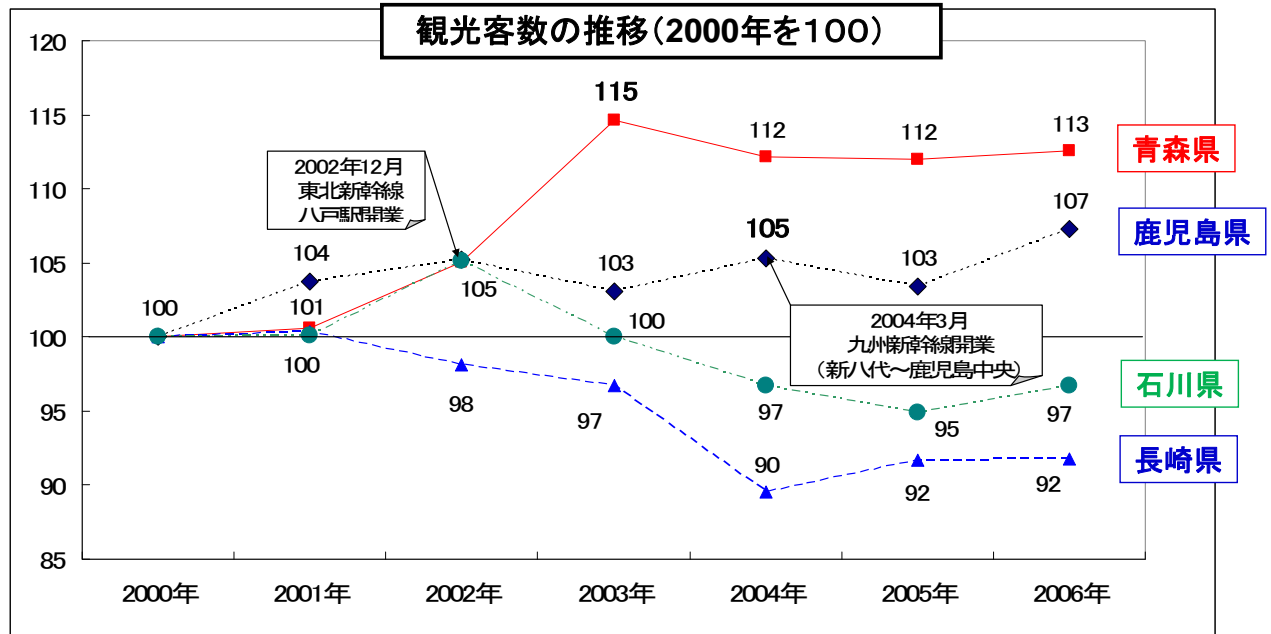
## <工事の進捗状況>

- 俵坂トンネル**  
佐賀県嬉野市～長崎県東彼杵町  
延長 3,060m  
平成21年7月5日に安全祈願祭が  
開催され、本格的な掘削作業開始
- 鈴田トンネル**  
長崎県大村市～長崎県諫早市  
延長 1,785m  
平成21年7月17日に安全祈願祭が  
開催され、本格的な掘削作業開始



※その他、構造物設計、地質調査、用地測量及びトンネル工事などが今年度に発注される予定になっています。

# 観光を大きく左右する新幹線

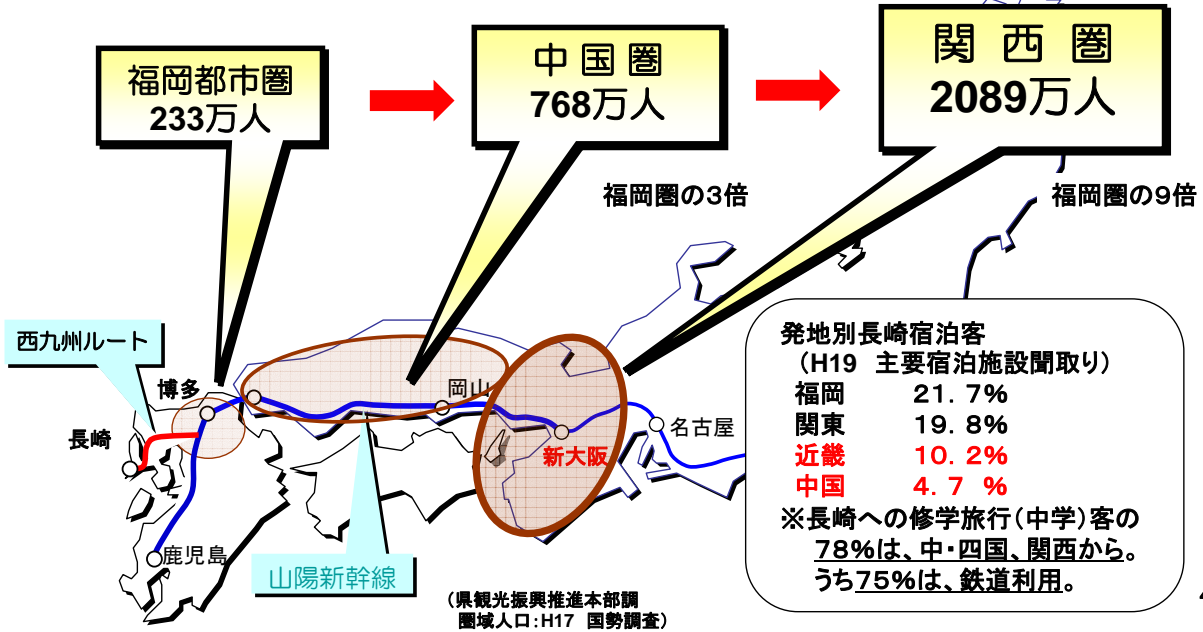


<参考>観光客数(県観光推進本部調)

	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
鹿児島県	44,582	46,249	46,899	45,950	46,938	46,093	47,819
青森県	42,127	42,375	44,254	48,309	47,238	47,165	47,412
石川県	21,496	21,519	22,596	21,505	20,784	20,397	20,798
長崎県	31,511	31,631	30,908	30,483	28,208	28,900	28,906

# 観光を大きく左右する新幹線

新幹線は、観光市場を 中四国・関西  
・全国に拡大・・・長崎の可能性をも拡大



## ② 長崎駅周辺の整備

県庁舎建設予定地  
平成21年5月臨時県議会にて、建て替える場合の建設場所とする意見書を採択。  
基本構想の策定に着手するとともに、現庁舎の跡地活用についても検討する。

多目的広場  
東口駅前広場  
長崎駅  
旭大橋  
西口駅前広場  
在来線  
新幹線

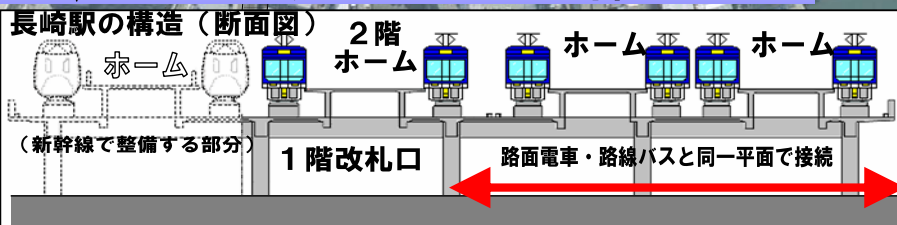
<p>JR長崎本線連続立体交差事業 都市計画決定(H20.12.26) 事業認可(H21年度予定) 計画延長 約2400m 事業期間H21~H35 事業費400億円</p>	<p>長崎駅周辺土地区画整理事業 都市計画決定(H20.12.26) 事業計画決定(H21年度予定) 施行面積 19.2ha 施行期間H21~H35 事業費170億円</p>
--	---

長崎駅ホームのイメージ図

長崎駅周辺の整備イメージ

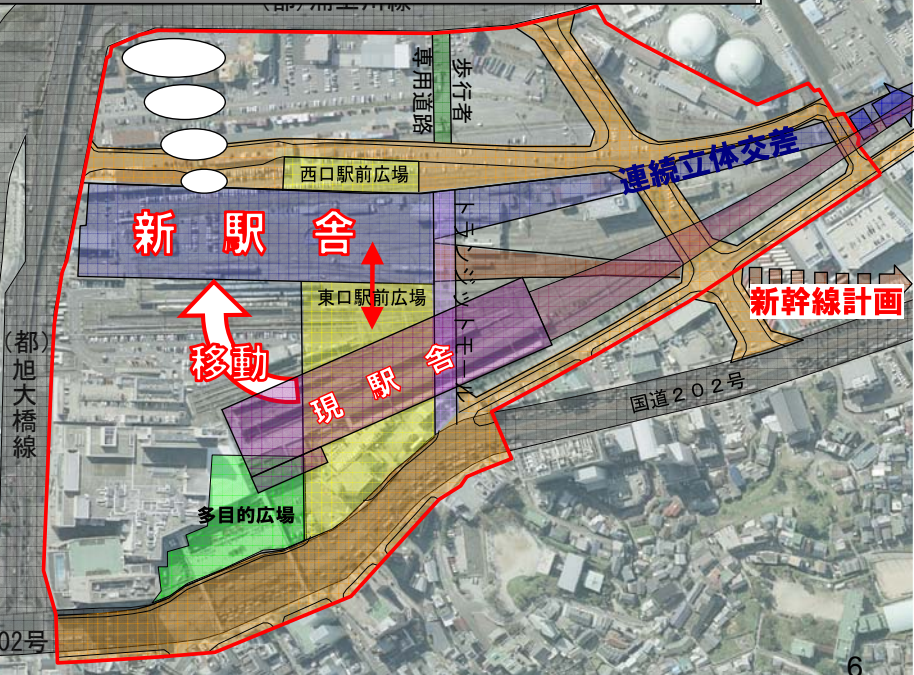
# 長崎駅周辺の整備

稲佐橋



魚市跡地の埋立  
（平成21年度完成）

耐震岸壁  
防災緑地



## ③ 長崎自動車道（長崎～長崎多良見）4車線化

**【現状】**

- 暫定2車線
- 対面交通
- 制限速度70km

4車線化が実現すると

**【効果】**

- 走行速度アップ（制限速度80km）
- 安全性の向上
- 事故による交通不能リスク低減
- 高速交通ネットワークの強化
- 渋滞緩和

長崎南環状線完成（H22予定）

教会群の世界遺産登録

● 交通利便向上

● 交流人口拡大

平成21年5月29日 大臣決定



## ④ 長崎港松が枝国際観光船ふ頭の整備



平成20年11月  
国内初の10万総トン級岸壁完成

平成22年 春  
新たな国際ターミナルビル完成予定

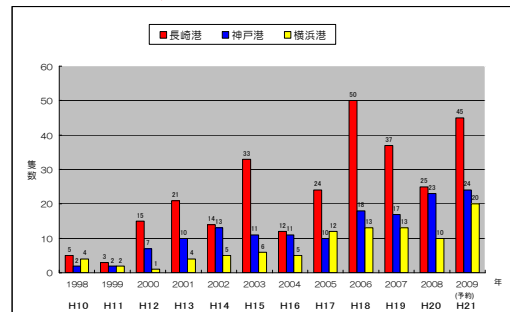


平成21年3月  
クイーン・ヴィクトリア号  
(約9万トン)  
日本初寄港

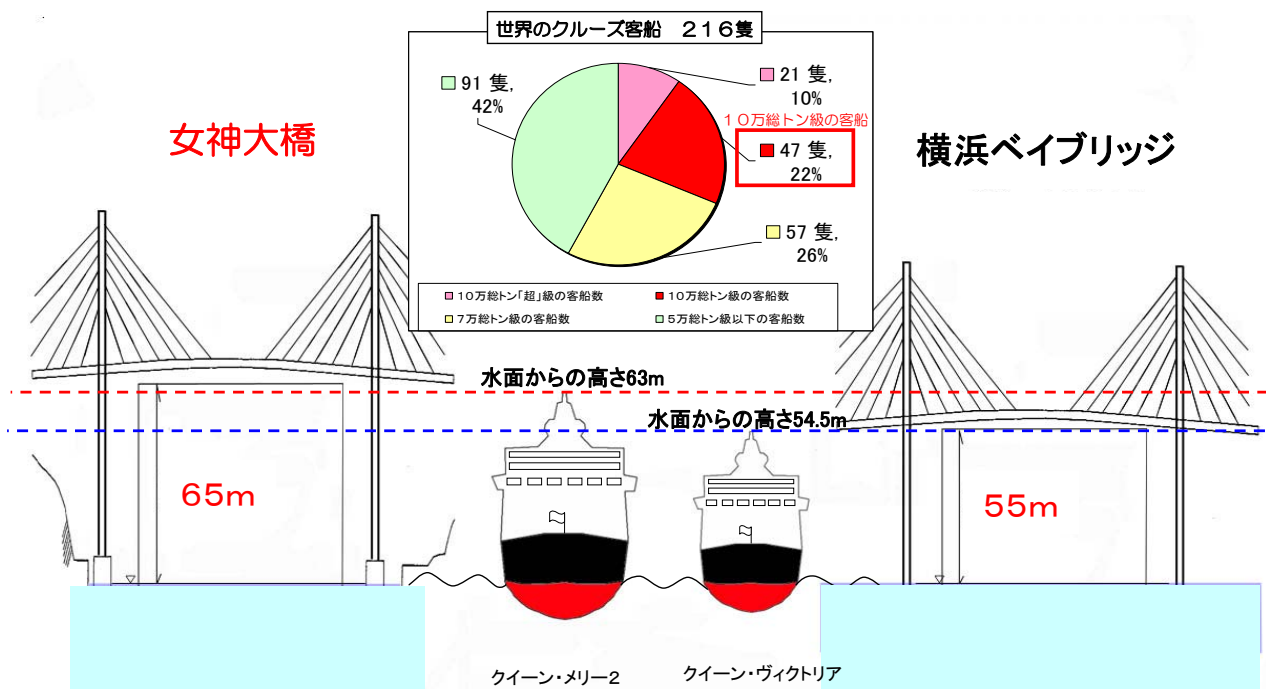


平成22年2月  
クイーン・メリー2世号  
(約15万トン)  
長崎初寄港予定

長崎港は、外国籍観光船の寄港実績が日本一  
寄港数は年々増加



長崎港・女神大橋は、横浜ベイブリッジより  
桁下高が10m高く、大型観光船が航行可能



※桁下高は満潮面からの高さ

## ⑤ 長崎さるくの推移



		2006	2007	2008	2009 (目標)
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度 (目標)
課題・目標		長崎さるく博'06の成功	通年型「長崎さるく」の構築	「長崎さるく」の定着と浸透	長崎さるく幕末編の成功
実施期間		長崎さるく博'06 212日間 4月1日～10月29日	通年	通年	通年
コース数	遊さるく	42コース	45コース	45コース	52コース
	通さるく	(通常) 28コース (限定) 3コース	(通常) 33コース (限定) 9コース	(通常) 33コース (限定) 20コース	(通常) 36コース (限定) 19コース
	学さるく	74テーマ	55テーマ	60テーマ	88テーマ
主な新規の取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>コース設定 …追加遊27コース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コース設定 …追加限定6コース</li> <li>遊さるく説明板設置 (166箇所)</li> <li>スタート等表示板設置 (88箇所)</li> <li>ガイド自主研究 グループ設置</li> <li>ガイドステーション変更 (出島等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コース設定 …追加限定11コース (帆船さるく、あじさいさるく、エコさるく、西坂殉教四列福者さるく、さるくマニアツアー等)</li> <li>ホームページリニューアル</li> <li>通さるくシールラリー (通年)</li> <li>学級レクリエーションさるく (随時)</li> <li>入学メモリアルさるく</li> <li>ガイドステーション変更 (南山手・東山手コース)</li> <li>池島炭鉱さるく再開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コース設定 …追加通3コース (長崎幕末・維新の道を往く、日本回天の舞台・長崎を訪ねて、日本の近代化の鼓動は長崎から)</li> <li>追加遊4コース (長崎を駆け抜けた薩摩の偉人、長州、土佐、肥前)</li> <li>タッチペンさるくの導入</li> <li>幕末モニュメントの設置</li> </ul>
					10

## ⑥ 大河ドラマ「龍馬伝」の活用

「龍馬伝」の舞台となる長崎県ならではの歴史・文化・豊かな自然を全国に情報発信し、イメージアップと観光客誘致をすすめる、経済の活性化を図る。

### 龍馬伝を活用した事業

#### ●大河ドラマ「龍馬伝」長崎県推進協議会設立 (H20. 9)

(県、長崎市、新上五島町、商工会議所連合会 等で構成)

#### ●キャラバン隊の実施 (H21. 5. 21～24)

福岡市、大分市、松山市、高知市において旅行代理店・マスコミ訪問や街頭でのPR活動を行った。

#### ●第15回日本観光博覧会 旅フェアへの出展

(H21. 5. 29～31)

長崎と「龍馬伝」の関連性を広く周知し、「龍馬伝」との相乗効果を図るとともに、豊かな自然や食を初めとした多くの本県の魅力を発信した。

#### ●物産展、旅する長崎学講座との連携

(H21. 8、H22. 1～3予定)

全国主要13都市百貨店及びハウステンボス「観光丸」において、「龍馬伝」をモチーフとした、観光・物産展及び旅する長崎学講座を同時開催する。

#### ●「長崎奉行・龍馬館」の開設(H22. 1～)

長崎歴史文化博物館内に開設。撮影セットの再現、衣装・小道具の展示、パネルや映像で龍馬の業績や人物像の紹介などを行う。

#### ●旅行商品の造成、ロケ支援 など

### ～NHK大河ドラマ「龍馬伝」～

○「幕末史の奇跡」とよばれた風雲児・坂本龍馬の33年の生涯を幕末屈指の経済人・岩崎弥太郎の視線から描くオリジナル作品

○2010年1月放送開始  
(2009年8月クランクイン予定)

○主役は長崎市出身の福山雅治氏  
(歌手・俳優など幅広い分野で活躍。H20. 4には長崎県美術館で写真展を開催)

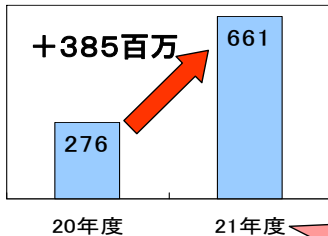


推進協議会キャラクター  
(名称募集中)

# 長崎県観光・物産展等の同時開催

NHK大河ドラマ「龍馬伝」をモチーフにした長崎県観光・物産展等を開催する  
 会場：全国主要13都市百貨店（三越・大丸・高島屋・松坂屋等）H22年1～3月  
 HTB観光丸（神戸・広島・松山・福岡4港 H21年8月）

県産品販売額目標（百万円）



## 物産 長崎県産品の販売

龍馬ゆかりの産品をはじめとする  
 県内各地の優れた県産品の展示販売



HTB観光丸



## 物産・観光の振興

県産品販売額増（3億円以上の創出）  
 長崎県への誘客



## 観光 大河ドラマ「龍馬伝」の活用

百貨店への観光ブース設置  
 ドラマ制作関係品の展示  
 ドラマパンフレットやノベルティの配布

福山効果

## 文化 歴史・文化の情報発信

「旅する長崎学講座」  
 の開講



# ⑦ 中国人クルーズ客のアーケードツアー

中国人観光客の誘致促進及び満足度向上のため、“街を楽しむ”歓迎ゾーンを  
 浜んまちアーケードに設置し、受け入れを行う。

コスタクルーズの長崎港入港予定（平成21年7月9日～10月2日）延べ19回



貸切バスで移動

初便1, 200名中800名  
 が浜んまちアーケードへ

## 浜んまちアーケードでの受け入れ体制



歓迎のぼり等



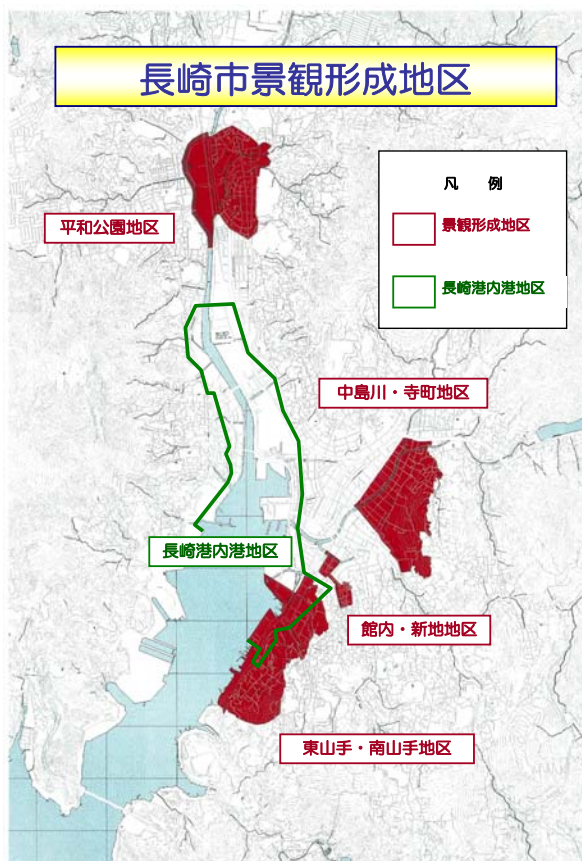
インフォメーション  
 （通訳・案内者配置）



両替所

## ⑧ 景観への取り組み

- ・長崎市景観条例（S64.1.1施行）に基づき、自然と歴史にはぐくまれた長崎らしい魅力あるまちづくりに努めてきた。
- ・景観形成地区において、景観形成基準を設定し、建築物の高さ制限、色彩の規制などを実施。
- ・長崎港内港地区は都市景観誘導基準による規制  
大規模建築物などは都市景観に関する届出・協議
- ・長崎らしい魅力的な景観形成を推進するため、合併町も含む市全域の景観基本計画の策定に向け、平成20年度から作業を進めている。



14

## 環長崎港地域アーバンデザインシステム

水辺の森公園・長崎県立美術館・



長崎県では、美しい都市景観を創造し、後世に引き継ぐ財産とするために、平成12年に当システムを構築し、質の高いデザインに関する検討を行ってきている

15

# 「長崎市中央部・臨海地域」の特性と課題の整理(案) (SWOT分析)

内 的 要 因	<b>強み (Strengths)</b>	<b>弱み (Weaknesses)</b>
	<p>【歴史】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの世界遺産候補が存在             <ul style="list-style-type: none"> <li>「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」(大浦天主堂・旧羅典神学校・旧大司教館・旧伝道師学校跡・日本二十六聖人殉教地)</li> <li>「九州・山口の近代化産業遺産群」(旧グラバー住宅・小菅修船場跡)</li> </ul> </li> <li>・歴史文化に根ざした観光施設が多数存在(唐人屋敷・神社仏閣等)</li> <li>・被爆と復興(平和公園、原爆資料館)</li> </ul> <p>【風景・自然・景観】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多彩な風景(海と山の近接、港、坂道、斜面地等)</li> <li>・稲佐山からの夜景(日本三大夜景)</li> </ul> <p>【文化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際色豊かな文化             <ul style="list-style-type: none"> <li>行事(くんち(日本三大祭)、精霊流、ペーロン、ランタンフェスタ等)</li> <li>食(卓袱料理、普茶料理、中華料理、カステラ等)</li> </ul> </li> </ul> <p>【産業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業都市としての歴史(造船、重機、石炭、水産)</li> <li>・造船業(三菱造船所/客船建造(クリスタル・ハーモニー、サファイアプリンセス等))</li> <li>・新エネルギー技術(太陽電池、風力発電)</li> </ul> <p>【医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本で初めての西洋式病院(長崎大学病院)</li> <li>・多数の医療機関が集積</li> <li>・先進医療(感染症と被爆者医療、肝臓や肺移植等)</li> </ul> <p>【観光】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光発祥の地</li> <li>・外国人宿泊者が多い</li> <li>・宿泊施設の充実(九州では福岡市に次ぐ)</li> <li>・長崎さるくによる総合的な取組</li> </ul> <p>【都市基盤の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10万総トン級国際観光船ふ頭</li> <li>・新幹線と長崎駅周辺の整備</li> </ul> <p>【交通体系】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路面電車、コミュニティバスの運行</li> </ul> <p>【地理・地形等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちがコンパクトで観光資源・施設が比較的コンパクトに集積</li> <li>・温暖で風光明媚</li> <li>・アジアクルーズに適した立地</li> <li>・異国情緒豊かで、ロマンチックな坂と港のまち(観光客の来崎前のイメージ)</li> </ul> <p>【市民意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動や市民活動への参加意向の高さ</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の大学が集積、潜在能力の高い人材を多く有す</li> </ul>	<p>【歴史】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海を眺められる場(Seaview Point)が少ない</li> <li>・長崎らしい都市景観の喪失             <ul style="list-style-type: none"> <li>(歴史的建築物の減少、国宝・文化財など周辺に高層建築物立地)</li> </ul> </li> </ul> <p>【文化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業構造が製造業のウエイトが低く、第三次産業に偏っている</li> </ul> <p>【医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間の観光の不足(歓楽街)</li> <li>・宿泊施設が減少傾向</li> <li>・国際コンベンションの開催実績が少ない</li> </ul> <p>【都市基盤の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間による建築投資が少ない</li> <li>・建物が比較的老朽化している</li> <li>・敷地規模が小さい</li> </ul> <p>【交通体系】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域アクセス網が弱い。</li> <li>・長崎駅と航路とのアクセスが悪い</li> <li>・長崎駅前の交通相互の交通結節機能不足(鉄道・バス・路面電車)</li> <li>・バリアフリー化が遅れている</li> <li>・国内空路が限定的(三大都市、九州のみ)</li> </ul> <p>【地理・地形等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平地が少なく、斜面地が多い</li> <li>・日本最西端という地理的環境</li> <li>・坂や階段が多い独特の地形(観光客の来崎後のイメージ)</li> </ul> <p>【市民意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティの希薄化</li> </ul> <p>【人口】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少、少子高齢化が顕著</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新卒者の流出が多い</li> </ul>
外 的 要 因	<b>機会・追風 (Opportunities)</b>	<b>脅威・逆風 (Threats)</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジア経済の発展に伴う新たな海外観光マーケットの拡大</li> <li>・段階の世代の退職に伴う観光市場の拡大</li> <li>・新幹線の開通(観光客増への期待)</li> <li>・長崎自動車道の4車線化(観光客増への期待)</li> <li>・長崎舞台の大河ドラマ放映(観光客増への期待)</li> <li>・日本三大ブランド(中華街・夜景・美港・祭り)</li> <li>・環境や新エネルギーに対する関心やニーズが高まっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円高(観光客の減少)</li> <li>・他の観光地との競合</li> <li>・九州新幹線鹿児島ルート全線開通</li> <li>・観光客の自動車利用による交通渋滞、混雑</li> </ul>

SWOT分析: 目標を達成することによって重要な内外の要因を特定すること。  
 このため、重要な要因を以下の2つに分類する。  
 内的要因 - 強みと弱み  
 外的要因 - 機会・追風と脅威・逆風  
 ※競合相手は想定していないため比較については世間一般的な認知度等で整理。

## 強み(Strengths)

### 【歴史】

- ・二つの世界遺産候補が存在
- ・歴史文化に根ざした観光施設が多数存在(唐人屋敷・神社仏閣等)
- ・被爆と復興(平和公園、原爆資料館)

### 【風景・自然・景観】

- ・多彩な風景(海と山の近接、港、坂道、斜面地等)
- ・稲佐山からの夜景(日本三大夜景)

### 【文化】

- ・国際色豊かな文化

### 【産業】

- ・産業都市としての歴史(造船、重機、石炭、水産)
- ・造船業(三菱長崎造船所/客船建造)
- ・新エネルギー技術(太陽電池、風力発電)

### 【医療】

- ・日本で初めての西洋式病院(長崎大学病院)
- ・多数の医療機関が集積
- ・先進医療(感染症と被爆者医療、肝臓や肺移植等)

### 【観光】

- ・観光発祥の地
- ・外国人宿泊者が多い
- ・宿泊施設の充実(九州では福岡市に次ぐ)
- ・長崎さるくによる総合的な取組

### 【都市基盤の整備】

- ・10万総トン級国際観光船ふ頭
- ・新幹線と長崎駅周辺の整備

### 【交通体系】

- ・路面電車、コミュニティバスの運行

### 【地理・地形等】

- ・まちがコンパクトで観光資源・施設が比較的コンパクトに集積
- ・温暖で風光明媚
- ・アジアクルーズに適した立地
- ・異国情緒豊かで、ロマンチックな坂と港のまち(観光客の来崎前のイメージ)

### 【市民の意識】

- ・地域活動や市民活動への参加意向の高さ

### 【その他】

- ・複数の大学が集積、潜在能力の高い人材を多く有する

## 弱み (Weaknesses)

### 【風景・自然・景観】

- ・海を眺められる場が少ない
- ・長崎らしい都市景観の喪失  
(歴史的建築物の減少、国宝・文化財など周辺に高層建築物立地)

### 【産 業】

- ・産業構造が製造業のウエイトが低く、第三次産業に偏っている

### 【観 光】

- ・夜の観光の不足(歓楽街)
- ・宿泊施設が減少傾向
- ・国際コンベンションの開催実績が少ない

### 【都市基盤の整備】

- ・民間による建築投資が少ない
- ・建物が比較的老朽化している
- ・敷地規模が小さい

### 【交通体系】

- ・広域アクセス網が弱い。
- ・長崎駅と航路とのアクセスが悪い
- ・長崎駅前の交通相互の交通結節機能不足  
(鉄道・バス・路面電車)
- ・バリアフリー化が遅れている
- ・国内空路が限定的(三大都市、九州のみ)

### 【地理・地形等】

- ・平地が少なく、斜面地が多い
- ・日本最西端という地理的環境
- ・坂や階段が多い独特の地形  
(観光客の来崎後のイメージ)

### 【市民意識】

- ・地域コミュニティの希薄化

### 【人 口】

- ・人口減少、少子高齢化が顕著

### 【その他】

- ・新卒者の流出が多い

## 機会・追風 (Opportunities)

- ・東アジア経済の発展に伴う新たな海外観光マーケットの拡大
- ・段階の世代の退職に伴う観光市場の拡大
- ・新幹線の開通(観光客増への期待)
- ・長崎自動車道の4車線化(観光客増への期待)
- ・長崎舞台の大河ドラマ放映(観光客増への期待)
- ・日本三大ブランド(中華街・夜景・美港・祭り)
- ・環境や新エネルギーに対する関心やニーズが高まっている

## 脅威・逆風 (Threats)

- ・円高(観光客の減少)
- ・他の観光地との競合
- ・九州新幹線鹿児島ルート全線開通
- ・観光客の自動車利用による交通渋滞、混雑



## ～ 事例集 ～

○クルーズ産業	P 1～ 7
○メディカルツーリズム	P 8
○国内観光地の事例	P 9～ 20
○新技術の活用事例	P21～22

## 伝統的クルーズと現代クルーズ

伝統的クルーズ	現代クルーズ
長期	短期 (1週間以内)
高価	廉価 (20,000円/日以下から)
高齢者向け	現役世代、家族連れ
クィーンエリザベスⅡ	1960年代にカリブ海で誕生し、 <b>大衆向けの大定員の大型クルーズ客船としてクルーズ産業の中心に成長</b>

## クルーズは有望な成長産業

- 2007年の世界のクルーズ人口は**1,666万人**
- 世界のクルーズ産業は北米がリードしている。
- その一方で日本は人口比から見ても相対的に少ない。

地域別クルーズ人口（2007年） 単位：万人	
世界計	<b>1,666</b>
アメリカ、カナダ	<b>1,165</b>
ヨーロッパ（イギリス以外）	<b>260</b>
イギリス	<b>134</b>
アジア（日本以外）	<b>60</b>
日本	<b>18</b>
オセアニア	<b>30</b>

2

## 現代クルーズ産業の現状

- クルーズ産業は**5兆円産業に成長**。また、雇用者は**12万人**
- クルーズ船社の3大グループと言われるカーニバルコーポレーション、ロイヤルカリビアン、スタークルーズがある。
- 中でもスタークルーズはアジアクルーズを行う会社として設立され、本社をマレーシアに置いている。
- 売上げの**10~20%の高い利益率**
- 旅行者にとっても販売しやすく、高い利益率
- 起点港にとっては大きな経済波及効果**
- 寄港港にとっても少なからぬ経済波及効果**

3

# イーストアジアクルーズにおける長崎

- 長崎はイーストアジアクルーズに優位な位置に存在
  - ・長崎から上海までの800kmは、観光船で1日の船旅圏内
  - ・地理的優位性も相まって大型客船の長崎港への入港は増える見込み



# クルーズで賑わう起点港 (マイアミ、バンクーバー)

- マイアミ港
  - ・金、土、日曜日は5~7隻が出航
  - ・クルーズの地域経済への波及効果は1兆円/年
  - ・45,000人の雇用を創出



- バンクーバー港
  - ・アラスカクルーズの起点港
  - ・定期クルーズが設定されているため、夏季限定(4月中旬から10月中旬)にも関わらず、寄港数は年間250隻を超える

# クルーズ船造船所～活気のある欧州の造船所～

- クルーズ船の三大造船所
- ・フィンカンティエリ（イタリア）
  - ・マイヤー・ベルフト（ドイツ）
  - ・STX欧州（ノルウェー）



出典：マイヤー・ベルフト社 6

# 国内クルーズの事例 飛んでクルーズ北海道

- ・フライ&クルーズの先進事例（千歳空港⇒クルーズ⇒女満別空港など）
- ・5日間で利尻、礼文、知床を周遊（片道3日間のコースも可能）
- ・利用者は4往復で約2,700人（H20）
- ・利用者の7割以上はクルーズ初乗船者 ⇒ クルーズ人口拡大に寄与



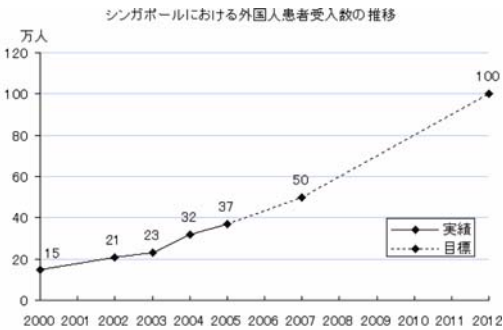
スケジュール			
日 程	船名	出帆	入港
8/27(木)	小樽	18:00	
8/28(金)	利尻	08:00	17:00
8/29(土)	網走	08:30	15:30
8/30(日)	礼文	08:00	17:00
8/31(月)	小樽	09:00	18:00
9/01(火)	利尻	08:00	17:00
9/02(水)	網走	08:30	15:30
9/03(木)	礼文	08:00	17:00
9/04(金)	小樽	09:00	18:00
9/05(土)	利尻	08:00	17:00
9/06(日)	網走	08:30	15:30
9/07(月)	礼文	08:00	17:00
9/08(火)	小樽	09:00	—
9/11(金)	小樽	18:00	—
9/12(土)	利尻	08:00	17:00
9/13(日)	網走	08:30	15:30
9/14(月)	礼文	08:00	17:00
9/15(火)	小樽	09:00	—



出典：商船三井客船 JTB 飛んでクルーズ北海道

# メディカルツーリズムの概要

- 「観光」と「医療サービス」をセットにしたパッケージツアー
- 一流ホテル並みの施設・サービス&高度な医療技術&低価格
- 医療費が高額な欧米患者が、医療費の安いアジア諸国に渡航  
(インド・シンガポール・タイ・マレーシアなどが主流)
- いずれも 政府主導で医療拠点づくりをすすめる
- 日本では、保険制度(自己負担3割)があり、割安感がなく普及せず  
(但し臓器移植、国内未承認新薬使用、美容整形などの保険外診療は別)



(注)シンガポール経済開発庁WEBサイトより  
(資料)経済産業省「平成19年版通商白書」

シンガポールでは急増し、将来100万人ともいわれる目標がある

メディカルを分類すると、治療目的から美容、健康増進までに分類される



<図1>「ヘルスツーリズム」の諸形態



中華民国対外貿易発展協会(TAITRA)のブースに掲げられたポスター

出典：経済産業省  
「平成19年度版通商白書」  
ほか

# 国内観光地の事例 北海道函館市

- まち並み景観、温泉、食、海、歴史文化など、多彩な観光資源が凝縮
- 近年、東アジアからも観光地として注目され、函館空港へのチャーター便が急増

チャーター便数 6便(1,600人)(H11) ⇒ 627便(87,000人)(H19)



～経緯～

- H元 元町末広町が重要伝統的建造物群保存地区の指定  
国際観光都市宣言を採択
- H16 函館市観光基本計画を策定  
函館市夜景グレードアップ構想の策定

～主な取り組み～

- ・歴史的建造物の保存と整備
- ・水産業と観光を結ぶ朝市の取組
- ・はこだてクリスマスファンタジー

出典：観光庁HP  
地域いきいき観光まちづくり

※日本三大夜景 長崎(稲佐山)、函館(函館山)、神戸(麻耶山)  
世界三大夜景 函館、香港(ピクトリアパーク)、ナポリ(ボジリポの丘)

# 出島と小樽運河との比較

〔出島〕 観光客数 年間約39万人



〔小樽運河〕

○ 運河周辺と調和した街並みの整備

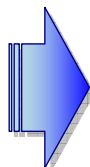
観光客数 年間約500万人

※ 小樽市観光客数

昭和61年 191万人 → 平成19年 740万人  
(549万人増加 3.9倍)

(整備後)

(整備前)



10

# 国内観光地の事例 東オホーツク（北海道網走市他5町）

- 知床世界自然遺産を最大限に活かして、国際的な観光地へ
- 冬季資源（流水観光など）を活かした通年型観光の推進

外国人宿泊者数 約6,000人(H9) ⇒ 約22,000人(H17)  
冬季入込客数 約63万人(H元) ⇒ 約102万人

～経緯～

- H3 流水船「おーろら」の運航開始
- H17 シーニックバイウェイの指定  
知床が世界自然遺産の登録

～主な取り組み～

- ・ シーニックバイウェイで地域活性化
- ・ 体験クルーズなど観光メニューの可能性検証
- ・ ビューポイントパーキングの整備



## 国内観光地の事例 築地市場（東京都中央区）

- 世界一の魚市場の街として、国際的な観光地へ
- 近年、外国人にも人気の観光スポットとして注目され、外国人観光客が急増

外国人旅行者（東京都） 約449万人（H17）⇒ 約533万人（H19）



～経緯～

T12 「中央卸売市場法」制定  
S10 「築地市場」開設

～主な取り組み～

- ・外国人観光客を対象とした「築地インフォメーションセンター」設置
- ・安全な築地市場内外の見学のため、専門ガイドが案内するツアーを運営
- ・「早朝セリ見学コース」「場内外見学コース」をはじめ、多彩なコースを設定

出典：築地魚河岸ガイドツアーHP 12

## 国内観光地の事例 愛知県豊橋市三河港

- 自動車産業等の魅力ある観光資源を活かした先行的な観光産業の取り組み
- 産業、農、漁業、特産品、景観、文化等の地域の特色を活かした観光産業の推進



～経緯～

H16 国土交通省の支援を受け、三河港自動車産業観光実験を実施

「はじめての三河港体験モニターツアー」  
「三河港自動車産業観光モニターツアー」  
「港湾地域セミナー」から構成

～主な取り組み～

- ・世界有数の自動車流通港として特色ある産業観光の振興
- ・モニターツアー等の積極的な取り組み

出典：愛知県観光協会HP他 13

## 国内観光地の事例 愛知県名古屋市 トヨタテクノミュージアム

○最新鋭の技術を展示し、車を通じた豊かな社会と最新の車づくりを提案

入館者数 130,600人（H7）⇒278,400人（H20）  
内、小中高生48,300人（約17%）



～経緯～

H6.6 産業技術記念館オープン

～主な取り組み～

- ・トヨタ生産方式による車づくりの詳しい展示
- ・産業技術、繊維機械、金属加工等の有機的なつながり。

出典：トヨタテクノミュージアム  
産業技術記念館

14

## 国内観光地の事例 島根県太田市 石見銀山

○日本では14番目の世界遺産であり、  
産業遺産としてはアジア初の登録

観光客数 290,000人（H14）⇒813,200人（H20）



～経緯～

H13 暫定リストに掲載

H19 世界遺産に登録

～主な取り組み～

- ・ペロタクシー、レンタサイクルの運行
- ・温泉施設との連携

出典：石見銀山の魅力徹底ガイド

15



## 国内観光地の事例 広島県呉市

○大和ミュージアムの集客力と、  
「大和」の背景となる歴史全体で観光づくりを推進

総観光客数 約227万人(H15) ⇒ 約475万人(H19)



～経緯～

- H17 呉市海事歴史科学館  
「大和ミュージアム」開館  
観光元年と位置づけ
- H18 「優秀観光地づくり賞」  
(社)日本観光協会会長賞受賞

～主な取り組み～

- ・大和ミュージアムと近隣体験学習施設の連携による、教育旅行の誘致
- ・観光資源を結ぶループバスの運行
- ・瀬戸内海クルーズ船の運行

出典：観光庁HP  
地域いきいき観光まちづくり 16

## 国内観光地の事例 唐戸市場（山口県下関市）

○一大グルメブームに乗った観光地へ  
○近年、外国人観光客にも人気の観光スポットとして注目

総観光客数（唐戸地区） 約283万人（H16）⇒ 約306万人（H20）



～経緯～

- H7 「唐戸市場朝市」開始
- H13 新市場の建替により、新築移転

～主な取り組み～

- ・全国的に珍しい販売形態として、一般消費者や観光客へも販売
- ・市場に親しみ、交流してもらうため、年二回の唐戸市場まつりを実施

出典：唐戸市場業者連合組合HP 17

## 国内観光地の事例 愛媛県今治市東予地区

○「タオルのまち」「造船のまち」として知られる地場産業のまち  
○産業の活性化をまちづくりに結びつけた「ファッションタウン構  
想」を掲げて産業観光に力を入れている。

総観光客数 約23,700千人(H12) ⇒ 約25,000千人(H16)



～経緯～

H11 進水式見学会実施

H12 大型商業施設「タオル美術館  
ASAKURA」開店

～主な取り組み～

- ・タオル産地の情報発信を目的とした  
タオルメーカー工場見学会
- ・産業遺産を活用したまちおこし

出典：(株)いよぎん地域経済研究センター 18

## 国内観光地の事例 福岡県大牟田市

○かつて、わが国最大の炭鉱であった  
三池炭鉱の資源を活かした産業観光地へ



～経緯～

H7 「石炭産業科学館」オープン

～主な取り組み～

- ・石炭で栄えた歴史に触れる、多彩な  
コース内容を設置
- ・地下400mの坑内(採炭作業現場)を  
再現(ダイナミックトンネル)

出典：大牟田市石炭産業科学館HP 19

## 国内観光地の事例 大分県豊後高田市

○歴史文化、建築物、まち並み景観を活かした観光地へ



～経緯～

H13 「昭和の町」着手

～主な取り組み～

- ・「昭和の再生」をテーマに建築、歴史、商品、商人を整備、保存
- ・町の案内人を設置することによる町の魅力向上

出典：豊後高田昭和のまちHP 20

## 新技術の活用事例 東京オリンピックバーチャルシステム

○2016年東京オリンピック招致MRシステムの開発

- ・スタジアム建設予定地にて完成予想のCG画像を合成するシステム
- ・平成21年4月17日にIOC評価委員会の会場視察において使用
- ・東京大学大学院池内研究室が設立したベンチャー企業(株)アスカラボと東京大学が共同開発



出典：(株)アスカラボHP  
プレスリリース資料

# 新技術の活用事例 「五島まるごとEV&ITS」 未来型ドライブ観光



## 「五島まるごとEV&ITS」:未来型ドライブ観光

- ①新幹線で長崎駅に到着、駅前からジェットfoilなどで五島へ直行
  - ②五島福江港など到着地でEVレンタカーが出迎え(シップ&EVライド)
  - ③カーナビで自由に観光コースを設定
  - ④世界遺産に登録された教会群をクリーンに巡る旅に出発
  - ⑤カーナビが最初の目的地「堂崎教会」へ誘導(所要時間20分)  
※走行中に、目的地の紹介や特産品などを音声で紹介
  - ⑥堂崎教会を見学中、EV専用駐車場では急速充電(30分)
  - ⑦各種オプションツアーを選択、カーナビが目的地に誘導
  - ⑧船の出航時刻に間に合うようカーナビが港ターミナルまで誘導
  - ⑨港でレンタカーを返却、レンタル料のほかお土産代など滞在経費も併せて精算
- © 2008 Europa Technologies

# 電気自動車で五島活性化

低炭素社会の実現に向け電気自動車など「次世代自動車」の普及を目指している県は24日、五島地区に本年度中、電気自動車のレンタカーを100台規模で導入することを明らかにした。島の観光情報などを発信する高度道路交通システム(ITS)と連動した未来型のドライブ観光システムで、島の活性化を図る。

**レンタカー  
100台を導入  
県、年度内に**

県は、電気自動車の導入で同地区内の観光振興や格差是正など課題解決を図りたい考え。例えば、世界遺産の本登録を目指す同地区内の「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」。本登録には、景観や環境保全が重視されるため、環境負荷を極力抑えた電気自動車の導入で環境先進地であることを全国的にアピールする構え。本土より約1.5倍高いガソリン代の格差是正も期待される。

また、電気自動車にはETC(自動料金収受システム)を発展させたITSを搭載。これによって観光地への道案内や道路の渋滞、対向車の接近状況も発信し、未来型の観光ドライブで地域の活性化を図る。

## ITS連動 未来型の観光提供

同地区の関係者も交流人口の拡大に期待を寄せ、五島市観光協会の瀬崎繁巳事務局長は「電気自動車のハイテク機器(ITS)で観光情報が入手できれば、観光客も楽しめると思う。五島の観光客の増加が期待できる」。井上俊昭新上五島町長は「環境に優しい島づくりを推進する中で、大きなインパクトがあり、島をアピールできる」とそれぞれ歓迎した。

同日、県と地域振興に関する連携協定を結ぶ慶応義塾大の川嶋弘尚理工学部教授らが県庁を訪ね、同教授はITSについての世界的権威といわれ、電気自動車導入に伴う現地調査のため五島地区入りした。